

令和7年度自己点検・自己評価表

西浦保育園

評価実施日令和8年3月31日

評価については、A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善を要するの4段階で評価する。

評価項目	評価	
(1)園の組織と運営に関すること		
職員の共通理解のもと、自園の保育課題を明確にし、子ども・保護者・地域の実態や実情に応じた適切な保育目標となっているか。	B	「入所する子どもの最善の利益の追求」の為に、保育理念、保育方針、保育目標を理解して、その実践に取り組んでいく。
明確な目標をもって職員会議が運営され、教職員の共通理解のもと、機能的に組織・運営がなされているか。	A	毎月1回のキャップ会、各歳児別打合せ、園内研修会を通じ、保育内容等の確認を行っている。
事故等緊急事態に対する安全対策及び、対応マニュアルの整備がなされているか。	A	作成した安全計画・BCPは適切か見直し改善点について話し合う。
保育目標や方法等を共通理解し、組織的な園内研究の推進に努めているか。	A	園内研修を実施して共通理解の推進に努めている。
(2)保育内容とその展開に関すること		
各年齢ごとの重点目標を明確にし、具現化した保育課程の編成・実施がなされているか。	B	毎月1回の各歳児別打合せにより、各月の目標、反省を明確にしている。
現代の保育課程を見通した道徳性の芽生えを培う保育や、幼児期にふさわしい知的発達等を促す教育が推進されているか。	B	自分の思いを出し活動する姿勢やこどもと共に考える場を大切に見通しを持った保育を実践している。
こどもの実態や育ちをとらえ、ねらいや内容を設定し、計画的に実践しているか。	B	こどもの発達を踏まえた月案を通してかかわりやこどもの姿の捉え方を話し合う。
こども一人一人を尊重し、保育のねらいをもって関わっているか。	B	こども一人一人の課題を明確にし、援助の仕方について職員間で共有している。
こどもにとって主体的な生活態度や創造的な思考を促すような、魅力ある環境構成がなされているか。	B	年齢、発達に応じた環境を考え、こどもの自発性を発揮できるよう、適切な援助を心がけている。
(3)健康管理・食事に関すること		
登園時や保育中のこどもの健康管理は、こども一人一人の健康状態に応じて実施しているか。	A	登園時の保護者との話や連絡ノートの確認をする。登園後のこどもの様子を観察し、一人一人の健康状態に応じ看護師とも連携をとりながら健康管理を実施している。
健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させているか。	A	診断結果の記録・伝達を行い、保育中の配慮について看護師を含め話し合っていく。
感染症の対応については、発生の状況を必要に応じて保護者、全職員に連絡しているか。	A	発生時には、一斉メールや口頭を通じ保護者・全職員に連絡している。
アレルギー疾患をもつこどもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	A	専門医の診断の上、マニュアルに準じて適切な対応を行っている。

こどもが食事を楽しむことが出来るように工夫をしているか。	A	個人差や食欲に応じ、量・材料・切り方等を工夫し、家庭と連携を図りながら、きめ細かい対応を心掛けている。
(4) 保育環境に関すること		
保育室・遊戯室・園庭等は保育士の創意を生かした環境整備が行われているか。	B	こどもが心地よく過ごせる環境を心がけ、危険防止にも注意していく。
こどもがイメージを広げたり刺激されたりする素材や遊具等の環境が工夫され、活用出来ているか。	B	玩具等こどもたちの姿や興味に適しているか環境を見直し、こどもたちが意欲をもって取り組めるよう職員間で何が必要か話し合っていく。
職員が協力して園庭・園舎の整備・管理に当たり、定期的に点検を行っているか。	A	防災設備点検(年2回)、保育所内外の安全点検(毎朝)、園庭の草取り(必要時)等を職員が協力して実施している。
地域の自然環境や公共施設等を把握し、有効に活用しているか。	A	散歩や園外保育等を行い、自然環境に触れるように努めている。
長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。	A	家庭的な保育を心がけ、職員の引き継ぎ時にこどもの状況をきちんと伝えるようにしている。
障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。	—	障害に対する知識を深める研修に参加したり、保育の仕方について園全体で話し合い、情報を共有している。(対象児なし)
(5) 子育て支援に関すること		
一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	A	送迎時の日常的な情報交換に加え、必要に応じて、個別懇談で相談に応じている。
家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているか。	A	必要なことは経過記録等に記録している。
(6) 家庭や地域との連携に関すること		
小学校と定期的に交流したり保育内容や児童・幼児等の理解を行ったりしているか。	—	
保護者や外部評価等の意見を取り入れ、保育活動に生かしているか。	A	保護者の意見を取り入れるようアンケート調査を実施したり、懇談会で園への要望を聞く場を持つ。
保育を公開したり地域の行事に参加したりして保護者や地域住民の理解や協力を得て、開かれた保育園づくりを行っているか。	B	主任児童委員にあそぼう会に参加していただき、地域の情報共有をしている。
(7) 安全確保への取り組みに関すること		
あらゆる場面を想定しての危機管理体制の共通理解が図られているか。	B	避難訓練、不審者訓練などの内容検討や実施を通し、共通理解を図っている。
外部からの侵入に対する対応策がとられているか。	A	駐車場入り口や門の施錠、防犯カメラ設置等を通し、外部からの侵入を防止し、侵入された時の対応訓練を実施している。
こどもに見知らぬ人や挙動不審な人に出会った際の対応について指導されているか。	—	